

事務事業名	19200 育児支援事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 3	所管課	健康管理課	担当班	支援班	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策)重2	<input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策体系	基本施策 7 子育て支援の充実	根拠法令	母子保健法、食育基本法、地域保健法等					事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画	<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	施策の展開 15 結婚・子育て環境の整備	戦略事業	71 育児支援事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	安心して育児に取り組めるよう、相談支援体制を整え(妊娠・出産・子育て～思春期までの“各種学級、教室及び相談”を開催)、育児不安の軽減を図り、育児の仲間づくりを支援する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
母子保健法や各種計画に基づき、合併以前から各育児支援事業が実施されていた。合併後には、1市3町で実施していた育児支援事業の内容の統一を図り、実施している。	少子化・核家族化・地域との繋がりの希薄化が進み、またインターネット等で情報が簡単に手に入る時代となり、育児不安を抱えている方が多い傾向にある。その中で専門的かつ継続的な支援が出来るよう育児支援事業を実施していく必要がある。	各種学級、教室及び相談の参加者より、「よかった」「安心した」「また利用したい」「継続して欲しい」といった肯定的な意見が多く聞かれている。また、子育て学級参加者においては、その後自主的育児サークル結成に至る経緯もあり、仲間作りを希望している方も多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円	
1.臨時雇賃金	1,096 心理相談員・言語聴覚士、保育士、歯科衛生士、助産師、保健師への賃金
2.委託料	220 心理相談員派遣委託料
3.消耗品費	180 各育児支援事業の指導用教材費、調理実習費
4.報酬	138 保健事業嘱託医
5.その他	81 両親学級・子育て学級活用用びん、発達相談・育児相談通知、教育用備品費(専修車・DVD購入)
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	1,712 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	3 繰越明許繰越金

費目内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(予算)
1.臨時雇賃金	千円	979	907	1,020	1,096	1,237
2.委託料	千円	192	283	278	220	228
3.消耗品費	千円	248	255	228	180	233
4.報酬	千円	138	138	138	138	138
5.その他	千円	56	171	39	81	40
事業費計(A)	千円	1,613	1,754	1,703	1,715	1,876
1.国庫支出金	千円	0	0	0	1,712	0
2.都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
3.地方債	千円	0	0	0	0	0
4.その他	千円	0	0	0	3	0
5.一般財源	千円	1,613	1,754	1,703	0	1,876

前年度増減理由	個別相談の利用者が増え、賃金が増加している
---------	-----------------------

従事職員数 常時 8人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

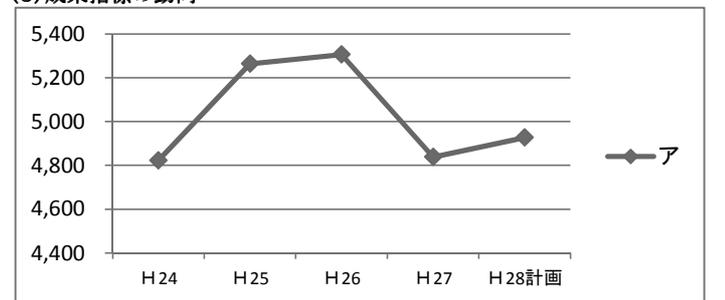
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動 27年度実績(27年度に行った主な活動) ①両親学級 ②子育て学級 ③離乳食教室 ④育児相談 ⑤発達相談 ⑥歯科相談 ⑦親子あそび教室 ⑧巡回歯磨き教室 ⑨赤ちゃんふれあい体験 ⑩母子保健訪問指導、面接・電話相談 ⑪育児サークル育成支援(自主的サークル・多児サークル・小さく生まれたお子様や病児の交流会) ⑫乳幼児救急法講習会 ⑬歯科健康教育	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか) 対象意図 乳幼児と保護者 育児不安の軽減が図れる様、仲間作りが出来る 対象意図	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
		育児の仲間づくり支援事業延べ実施回数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル実施回数)	回	254	290	305	254	266
		相談件数(育児相談、発達相談、歯科相談、面接・電話相談延べ件数)	件	1,840	1,843	1,989	2,054	2,954
		育児の仲間づくり支援事業延べ参加者数(両親学級、子育て学級、離乳食教室、親子遊び教室、赤ちゃんふれあい体験、育児サークル参加者数)	人	4,822	5,264	5,306	4,838	4,927

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	②
	普通	ある程度ある	
	小さい	ほとんどない	
評価結果	①	下位 1/3	
	②	中位 1/3	(2)
	③	上位 1/3	
	④⑤		
	⑥		
	⑦⑧		
	⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項	時期 H28年4月 内容 各事業の参加実績に基づいて実施回数の見直しを行う(両親学級、子育て学級、育児相談、親子あそび教室)
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()
成果動向	比較 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28計画 ア 889 442 42 △ 468 89 イ
コメント	(停滞・実施困難の場合、その理由) (低下の場合、その理由) 育児支援事業に参加し仲間ができた後、子育て広場「ハニカム」や公園、市外の遊び場を活用するグループが増えている状況であるが、この育児支援事業は仲間づくりのきっかけとなっている。 両親学級実施回数1コース4回から1コース3回に変更。1回あたりの内容の充実を図る。また赤ちゃんふれあい体験が1校今年度他校を対象を合わせ休止となるため実施数としては減少する見込みあり。